

FMV

B5FY-6051-01 Z0



FMV シリーズ

取扱説明書

**3.5 インチ光磁気ディスクユニット -2.3GB
(セキュリティ対応／USB)**

(FMPD-462S)

FUJITSU

はじめに

このたびは、弊社の3.5インチ光磁気ディスクユニット(FMPD-462S)(以降、本製品)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2005年10月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パソコン用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

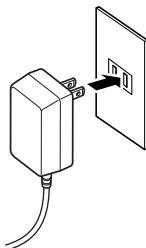
保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください(詳しくは、保証書をご覧ください)。
- 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複写して、保管しておいてください。
- 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造終了後5年です。

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術製品です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

■電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源コードの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。このマニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■コマンド入力（キー入力）

本製品のドライブ名を「CD/DVD ドライブ」で表記しています。入力の際はお使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

例：[CD/DVD ドライブ]：¥setup.exe

- 上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やディスク、データの種類によって、実際に表示されている画面やイラストおよびファイル名などが異なることがあります。また、本書に表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例： 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

また、本文中の操作手順において、操作手順の類似しているものは、あわせて記述しています。

例： 「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
3.5インチ光磁気ディスクユニット -2.3GB (セキュリティ対応／USB) (FMPD-462S)	本製品	
3.5インチ光磁気ディスク	MOディスク	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	Windows ^注
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows 2000	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows Me	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows 98	
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION		

注：Windows XP/2000 のように併記する場合があります。

■ 商標および著作権について

Microsoft および Windows、MS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2005

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

このマニュアルでは、いろいろな絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	🚫で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■安全上のご注意

警告

・梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

・手動イジェクト治具は、小さなお子様が誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

・本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに本製品の電源スイッチを切り、機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「お問い合わせ先」（→ P.39）、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

・本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「お問い合わせ先」（→ P.39）、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - その後、故障・修理に関するお問合せ先（「お問い合わせ先」→ P.39）、またはご購入元にご連絡ください。
 - そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
-
- ・本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。水などの液体が本製品の内部に入り、感電・火災の原因となります。
-
- ・本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。
-
- ・本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
-
- ・電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に接続してください。また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。
-
- ・近くで落雷のおそれがある場合は、本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、雷が止むまで取り付けないでください。
そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。
-
- ・付属のACアダプタ以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
-
- ・濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
-
- ・ACアダプタを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりするとACアダプタを傷め、感電・火災の原因となります。
-
- ・ACアダプタのコードやDCプラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい状態では使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
修理は、故障・修理に関するお問合せ先（「お問い合わせ先」→ P.39）、またはご購入元にご依頼ください。
-
- ・ACアダプタはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
ほこりがたまつままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。
-
- ・開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「お問い合わせ先」(→ P.39)、またはご購入元にご連絡ください。

⚠ 注意



- スロットなど本製品の開口部に、手や指を入れないでください。
けが・感電の原因となることがあります。



- 本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。



- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- 本製品は精密に作られていますので、高温・低温・多湿・直射日光など極端な条件での使用・保管は避けてください。また、製品を曲げたり、傷つけたり、強いショックを与えないでください。
故障・火災の原因となることがあります。



- AC アダプタをコンセントから抜くときは AC アダプタのコードを引っ張らず、必ず AC アダプタ本体を持って抜いてください。
AC アダプタのコードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- AC アダプタのコンセント差し込みプラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となります。



- 使用中の本製品や AC アダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際は本製品と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけ、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- AC アダプタのコードを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。



- 本製品を移動する場合は、必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。
作業は足元に十分注意して行ってください。
AC アダプタが傷つき、感電・火災の原因となったり、製品が落下したり倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- 長時間製品を使用しないときは、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
火災・故障の原因となることがあります。

■ レーザーの安全性について

本製品は、レーザーを使用しています。

クラス 1 レーザー製品

本製品は、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則 (DHHS21 CFR) Subchapter J に準拠しています。また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である (IEC 60825-1)、CENELEC 規格 (EN 60825-1) および、JIS 規格 (JISC6802) に準拠しています。

⚠ 注意



- お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。

本装置は、レーザー光線を遮断する安全な構造になっていますが、分解したり修理・改造したことで、レーザー光線が装置外にもれて目に照射され、視力障害の原因となります。



- 本装置は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。

レーザー光線が目に照射されると視力障害の原因になります。

目次

はじめに	1
安全上のご注意	4
第1章 概要	
1 本製品について	11
梱包物を確認してください	11
特長	11
セキュリティ機能について	12
セキュリティツールについて	12
使用できるディスク	13
2 各部の名称と働き	14
前面	14
背面	15
第2章 準備	
1 設置について	17
2 接続	18
3 ソフトウェアのインストール	20
ドライバのインストール	20
「MO イジェクトツール」のインストール	26
「MO Security Tool」のインストール	27
SecureMO Light28 のインストール	27
第3章 使い方	
1 ディスクの入れ方	30
2 ディスクの取り出し方	32
第4章 取り扱いについて	
1 本製品の取り扱い	34
万一の故障を防ぐために	34
2 ディスクの取り扱い	35
取り扱い上のご注意	35
MO ディスクのデータを守るために	36
3 クリーニングについて	37
MO ディスクのクリーニング	37
レンズのクリーニング	37
リサイクルについて	38

3.5インチ光磁気ディスクユニット -2.3GB (セキュリティ対応／USB) (FMPD-462S) 取扱説明書	
有寿命部品について	38
お問い合わせ先	39

第5章 技術情報

1 仕様一覧	41
---------------	----

1

第1章

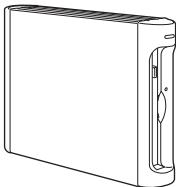
概要

1 本製品について	11
2 各部の名称と働き	14

1 本製品について

梱包物を確認してください

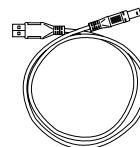
ご使用いただく前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。万一、欠品などがございましたら、おそれいりますがご購入元にご連絡ください。



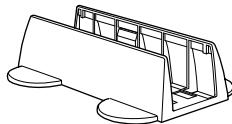
光磁気ディスクユニット



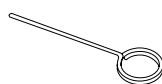
AC アダプタ



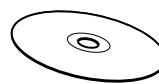
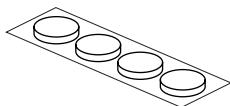
USB ケーブル



縦置きスタンド



手動イジェクト治具

USB MO ドライバーズ CD V2.7
CD-ROM 1 枚

ゴム足

- はじめにお読みください
- 保証書

特長

本製品には、次のような特長があります。

- USB2.0 に対応
- セキュリティ機能 (1.3GB、2.3GB 媒体へのパスワード設定機能) を標準装備
- 光磁気記録方式により、何度もデータの書き込み、消去が可能
- 3.5インチ MO ディスクに 2.3GB の情報が記録可能
- 信頼性の高いエラー訂正機能の採用により、 10^{-12} のエラー率を実現

POINT

- ▶ USB2.0 でご使用になるためには、USB2.0 の環境が必要です。
- ▶ ハブをご使用になる場合は、USB2.0 対応のハブおよびケーブルを使用する必要があります。
(アップストリームに USB1.1 の機器がある場合は USB1.1 として動作します)
- ▶ USB ケーブルは必ず添付のものをご使用ください。

セキュリティ機能について

本製品に添付している「MO Security Tool」、「SecureMO Light28」のご使用に際しては、次のことに注意してご使用ください。

※ 重要

- ▶ 本製品を接続したパソコンの電源をオフにする場合は、必ずセキュリティディスクを取り出しか、または本製品の電源をオフにしてください。
本製品使用時のパスワード認証状態は、本製品およびパスワード認証を行ったセキュリティディスクにより保持されます。パスワード認証を行った後に、セキュリティディスクを取り出して再セットした場合、および本製品の電源を入れたり切ったりする場合は、セキュリティディスクにアクセスする前に、再度パスワードを入力してパスワード認証を行ってください。
- ▶ ネットワーク環境に接続されたパソコンに本製品を接続し、本製品を「共有」に設定して使用する場合は、本製品を接続したパソコン上でパスワード認証されたセキュリティディスクの内容は、ネットワーク上の他のパソコンからもアクセスできます。
ただし、ネットワーク上の他のパソコンからパスワードを入力してパスワード認証を行うことはできません。
- ▶ 弊社は本製品を使用したことにより生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめ了承ください。
- ・ 本製品を使用してセキュリティディスクに設定した MO ディスクは、ディスクに記録されたパスワードを入力しないとアクセスできません。
また、セキュリティディスクに設定した MO ディスクは、非セキュリティディスクに戻すことはできません。
- ・ MO ディスクや本製品の故障、および故意に本製品の内部動作を解析してパスワードを解読してアクセスした場合には、当社は本製品のセキュリティ機能を保証しません。

セキュリティツールについて

本製品には、MO ディスクにパスワードを設定することでアクセス制限を設定することができるセキュリティツールとして、「MO Security Tool」、「SecureMO Light28」が添付されています。

「MO Security Tool」は「Read/Write パスワード」、「Read パスワード」、「ディレクトリパスワード」、「非常用パスワード」の 4 種類のパスワードを使用できます。

「SecureMO Light28」は設定できるパスワードを「Read/Write パスワード」のみに限定し、操作を簡単にしたセキュリティツールです。

「SecureMO Light28」は、「MO Security Tool」で作成したセキュリティディスクに

- ・ Read/Write パスワード
- ・ Read パスワード
- ・ ディレクトリパスワード

を入力して鍵あけ（パスワード認証）を行い、

- ・読み取り／書き込み
 - ・読み取り
 - ・ディレクトリ情報の読み取り
- を行うことができます。

「SecureMO Light28」は、「MO Security Tool」で作成したセキュリティディスクに、非常用パスワードを入力して鍵あけ（パスワード認証）を行うことはできません。

また、「SecureMO Light28」で作成したセキュリティディスクは、「MO Security Tool」上でパスワードを入力して読み取り／書き込みを行うことができます。

なお、Windows 2000 に「SecureMO Light28」をインストールする場合は、Windows 2000 SP4 環境が必要になります。お客様のご都合にあわせてインストールしてご使用ください。

使用できるディスク

本製品では、次の直径 3.5 インチの MO ディスクが使用できます。

容量	品名	商品番号	備考
128MB	光磁気ディスクカートリッジ R128	0242110	
230MB	光磁気ディスクカートリッジ R230*	0242210	
	光磁気ディスクカートリッジ MR230	0243210	
	光磁気ディスクカートリッジ OW230*	0242310	オーバーライト媒体
	光磁気ディスクカートリッジ MOW230	0243310	オーバーライト媒体
540MB	光磁気ディスクカートリッジ R540*	0242410	
	光磁気ディスクカートリッジ MR540	0243410	
	光磁気ディスクカートリッジ OW540*	0242510	オーバーライト媒体
	光磁気ディスクカートリッジ MOW540	0243510	オーバーライト媒体
640MB	光磁気ディスクカートリッジ R640*	0242610	
	光磁気ディスクカートリッジ MR640	0243610	
	光磁気ディスクカートリッジ OW640*	0242710	オーバーライト媒体
	光磁気ディスクカートリッジ MOW640	0243710	オーバーライト媒体
1.3GB	光磁気ディスクカートリッジ R13G*	0242810	
	光磁気ディスクカートリッジ MR13G	0243810	
2.3GB	光磁気ディスクカートリッジ R23G	0242910	

POINT

- ▶ * 印のついているディスクは既に生産が終了しており、新規の購入はできません。
- ▶ 総記憶容量は 1MB = 1000 × 1000 バイトで換算しています。
- ▶ 本製品はオーバーライト機能に対応しておりません。

オーバーライト媒体を使用した場合は、通常媒体と同等の書き込み性能となります。

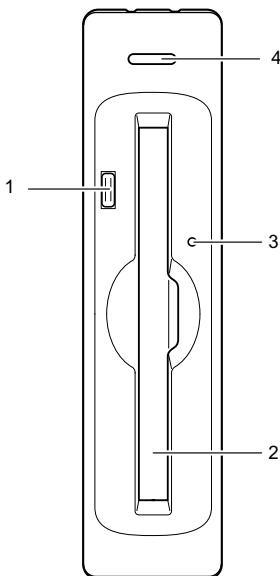
富士通サプライ品は、富士通コワーコ株式会社の取り扱い品です。

お問い合わせ先：富士通コワーコ株式会社お客様総合センター

- ・電話：0120-505-279
- ・電話受付時間：9:00～17:30（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
- ・URL：<http://jp.fujitsu.com/coworco/>

2 各部の名称と働き

前面



1 BUSY（動作中）インジケータ／EJECT（ディスク取り出し）ボタン

- BUSY インジケータ
MO ディスク挿入時、排出時、書き込み時および電源投入時に点滅します。

POINT

▶ 本製品の内部が規定温度以上になると、読み書きの動作に関係なく約 2 秒ごとに点滅します。この場合、以下の確認をしてからご使用してください。

- ・しばらく放置して、点滅しなくなることを確認してください（点滅しなくなるまでの時間は、使用環境や動作環境により異なります）。

- ・使用環境を確認してください。直射日光の当たる場所など、高温になる場所でのご使用を避けてください。

頻繁に点滅する場合または点滅が消えない場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

• EJECT ボタン

本製品に入っている MO ディスクを取り出すときに押します。

ただし、ソフトウェアでディスクのイジェクト（取り出し）が禁止されている場合は、取り出しができません。

2 ディスク挿入口

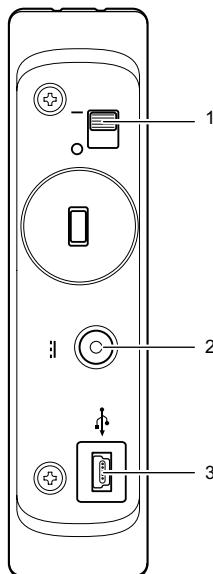
ここに MO ディスクを入れます。ディスクの入れ方は「使い方」(→ P.29) をご覧ください。

3 ディスク取り出し穴

万一、MO ディスクが通常の方法で取り出せなくなったときは、この穴に付属の手動イジェクト治具を差し込むと、MO ディスクを取り出すことができます。詳しくは、「ディスクの取り出し方」(→ P.32) をご覧ください。

4 POWER (電源) インジケータ

電源がオンになると緑色に点灯します。

背面**1 POWER (電源) スイッチ**

上 (| 側) にずらすと電源が入り、下 (○側) にずらすと電源が切れます。

2 DC 入力コネクタ

本製品添付の AC アダプタの DC プラグを接続します。

3 USB コネクタ

本製品添付の USB ケーブルのコネクタを接続します。

2

第2章

準備

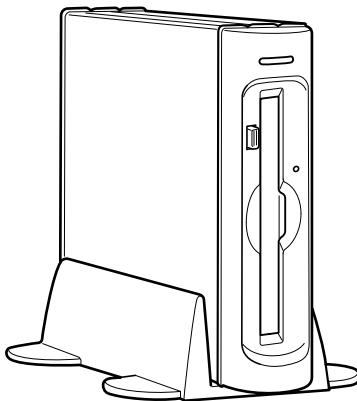
本製品をパソコン本体に接続します。

1 設置について	17
2 接続	18
3 ソフトウェアのインストール	20

1 設置について

本製品の使用は縦置きが基本です。添付されている縦置きスタンドに本製品をセットし、安定した水平な場所に設置してください。

2



POINT

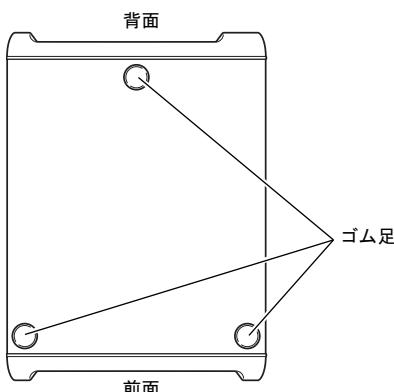
▶ 本製品を転倒させないように注意してください。転倒させると、故障の原因となるおそれがあります。

■横置きでの設置について

本製品には横置き設置用のゴム足が添付されており、横置きで設置することができます。添付のゴム足は4個あります。1個は予備としてご利用ください。

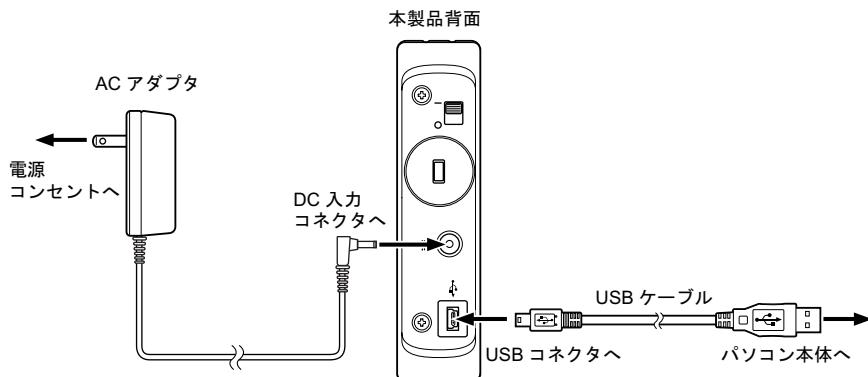
横置きで設置する場合には、底面（ラベルが貼ってある面）の周囲3ヶ所に、添付のゴム足を貼り付けます。水平で安定した場所に設置してください。

残りのゴム足1個は予備としてご利用ください。



2 接続

- 1 本製品添付の USB ケーブルのコネクタを、本製品背面の USB コネクタにまっすぐに差し込んで接続します。
- 2 AC アダプタを接続します。
本製品添付の AC アダプタの DC プラグを、本製品背面の DC 入力コネクタに接続します。次に、AC ケーブルのコンセント差し込みプラグを電源コンセントに差し込みます。
- 3 手順 1 で接続した USB ケーブルのもう一方を、パソコン本体の USB コネクタにまっすぐに差し込んで接続します。



◆ 重要

- ▶ 次のような場所で、使用したり保管したりしないでください。
 - ・湿気の多い所や乾燥している所
 - ・ほこりの多い所
 - ・極度に高温や低温な所
 - ・激しい振動のある所
 - ・直射日光の当たる所
 - ・不安定な所
 - ・温度変化の激しい所

 **POINT**

- ▶ パソコン本体への接続については、パソコン本体のマニュアルもあわせてご覧ください。
- ▶ 本製品のUSBインターフェースは、すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- ▶ 本製品のUSBインターフェースは、USB2.0に準拠しています。十分な性能を引き出すためにはUSB2.0環境が必要となります。
また、USB1.1またはUSB2.0に準拠していないUSBデバイス（コントローラ、ハブ、ケーブル、マウスなどの周辺機器）を本製品と同時に使用すると、Windowsが動かなくなったり、データが失われることがありますので、同時に使用しないでください（ご使用のUSBデバイスがUSB1.1または2.0に準拠しているかどうか不明な場合は、デバイスの製造元にお問い合わせください）。
- ▶ 本製品をキーボードのUSBポート経由で接続しないでください。正常に動作しないおそれがあります。

3 ソフトウェアのインストール

本製品には、以下のドライバーズ CD が添付されています。

- ・USB MO ドライバーズ CD V2.7

「USB MO ドライバーズ CD V2.7」は以下の構成になっております。

USB_MO [CD/DVD ドライブ]

- ¥Readme.txt …パッケージ説明書
- ¥Manual.pdf …本製品取扱説明書
- ¥Driver
 - ¥2k …Windows 2000用MO Supplement
 - ¥9x_Me …Windows Me/98用MO Supplement
 - ¥XP …Windows XP用MO Supplement
 - ¥FJMSCD …Windows 98用USB ドライバ
- ¥Eject
 - ¥9x_Me …Windows Me/98用MO イジェクトツール
 - ¥2k_XP …Windows XP/2000用MO イジェクトツール
- ¥Security
 - ¥9x_2k_Me …Windows 2000/Me/98用MO Security Tool
 - ¥XP …Windows XP用MO Security Tool
 - ¥Security.pdf …MO Security Toolについて
- ¥Security28 …SecureMO Light28
 - ¥Security28.pdf …SecureMO Light28 ユーザーズガイド

以下にドライバや各ユーティリティのインストール方法を示します。

※ 重要

- ▶ ドライバーズ CD 内のドライバ、ユーティリティなどは、本製品使用時のみ動作が保証されています。

ドライバのインストール

本製品を使用する場合は、Windows のバージョンにあわせて、以下のドライバをインストールしてからご使用ください。

■ Windows XP で使用する場合

□ Windows XP 用 「MO Supplement」 のインストール

- 1** CD/DVD ドライブにドライバーズ CD をセットします。
- 2** 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3** 名前に次のように入力して「OK」をクリックします。

[CD/DVD ドライブ] : ¥Driver¥XP¥MOSUPPLE.MSI

あとは、画面に表示されるメッセージにしたがって操作を続けてください。

Windows XP 用 「MO Supplement」 の機能など詳細については、ドライバーズ CD の「¥Driver¥XP」 フォルダ内の「Readme.txt」をご覧ください。

☞ 重要

▶ 標準の設定では、ディスクの書き込みキャッシュが無効になっています。本製品をご利用の前に「リムーバルディスク」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックし、「ハードウェア」タブをクリックします。「FUJITSU MCR3230UB-S USB Device」を選択し、「ポリシー」タブから「パフォーマンスのために最適化をする」と「ディスクの書き込みキャッシュを有効にする」にチェックを入れてください。

POINT

- ▶ MOディスクを読み取り中やフォーマット中に以下の行為を行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
 - ・ USB ケーブルを抜く。
 - ・ 電源を切る。
 - ・ MO ディスクを取り出す。
 - ・ Windows を終了する。
 - ・ パソコン本体をスタンバイや休止状態にする。
- ▶ 物理フォーマットされていない MO ディスクは認識されません。
- ▶ NTFS にフォーマットされた MO ディスクは、本製品のイジェクトボタンでは取り出せません。ドライブアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」をクリックしてください。
- ▶ Windows 標準の設定では、Administrator 権限以外では MO ディスクのフォーマットや取り出しはできません。ユーザ権限で MO ディスクのフォーマットや取り出しを行う場合は、以下の設定を行ってください。
 1. Administrator 権限でログオンします。
 2. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「管理ツール」をダブルクリックし、「ローカルセキュリティポリシー」をダブルクリックします。
 4. 表示されたウィンドウから「セキュリティオプション」→「デバイス：リムーバブルメディアを取り出すのを許可する」をクリックし、設定を "Administrators" から "Administrators and Interactive Users" に変更します。
 5. 設定変更後は必ずパソコンを再起動してください。
- ▶ パソコンの電源が入った状態で本製品を取り外す場合や、本製品の電源を切る場合は、あらかじめ MO ディスクを取り出してください。その後、デスクトップ右下のタスクトレイに表示されている「取り外し」アイコンをクリックします。「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ(X:) を停止します」をクリックし、「OK」をクリックしてから、本製品を取り外したり、電源を切ったりしてください。

- ▶ MO ディスクをフォーマット後、タスクバーや「ハードウェアの追加と削除」からハードウェアの取り外しを行った場合、次のエラーメッセージを表示し、取り外しができない場合があります。
「プログラムが“汎用ボリューム”デバイスにまだアクセスしているため、デバイスを停止できません。」
この場合は、まず他のアプリケーションが使用していないか確認し、使用状態を解除してください。
それでも現象が回避できない場合は、Windows を再起動すると正常に取り外しが実行できます。
- ▶ パソコン本体がスタンバイおよび休止状態中は、本製品を接続している USB ケーブルを抜かないでください。パソコンが正常に動作しなくなるおそれがあります。
誤って抜いてしまった場合は、スタンバイおよび休止状態から復帰後、必ずパソコンを再起動してください。
- ▶ パソコンに本製品を接続すると、まれに正しく認識されず「ハードウェアの検索ウィザード」が表示されることがあります。この場合は、「キャンセル」をクリックしてウィンドウを閉じてから、USB コネクタを抜いて接続し直してください。

■ Windows 2000 で使用する場合

□ Windows 2000 用「MO Supplement」のインストール

- 1 CD/DVD ドライブにドライバーズ CD をセットします。
- 2 「スタート」ボタンから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 名前に次のように入力して「OK」をクリックします。

[CD/DVD ドライブ] :¥Driver¥2k¥MOSUPPLE.MSI

あとは、画面に表示されるメッセージにしたがって操作を続けてください。

Windows 2000 用「MO Supplement」の機能など詳細については、ドライバーズ CD の「¥Driver¥2k」フォルダ内の「Readme.txt」をご覧ください。

POINT

- ▶ MOディスクを読み取り中やフォーマット中に以下の行為を行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
 - ・ USB ケーブルを抜く。
 - ・ 電源を切る。
 - ・ MO ディスクを取り出す。
 - ・ Windows を終了する。
 - ・ パソコン本体をスタンバイや休止状態にする。
- ▶ Windows 2000 では、「ディスクのコピー」は使用できません。
- ▶ 物理フォーマットされていない MO ディスクは認識されません。
- ▶ NTFS フォーマットはなるべく使用しないことをお勧めします。
以下のような不具合があります。
 - ・ NTFS にフォーマットされた MO ディスクで、ライトプロテクトされている場合は読み取ることができません。
 - ・ NTFS にフォーマットされた MO ディスクは、本製品のイジェクトボタンでは取り出しができません。ドライブのアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」をクリックしてください。
 - ・ Windows 2000 で NTFS にフォーマットされた MO ディスクは、Windows NT4.0 では使用できません。

- ▶ Windows 標準の設定では、Administrator 権限以外では MO ディスクのフォーマットや取り出しができません。
- ユーザ権限でも MO ディスクのフォーマットや取り出しを行う場合は、以下の操作を行ってください。
1. Administrator 権限でログオンします。
 2. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「管理ツール」をダブルクリックし、「ローカルセキュリティポリシー」をダブルクリックします。
 4. 表示されたウィンドウから「セキュリティオプション」→「リムーバブル NTFS メディアを取り出すのを許可する」をクリックし、設定を "Administrators" から "Administrators and Interactive Users" に変更します。
 5. 設定変更後は必ずパソコンを再起動してください。
- ▶ パソコンの電源が入った状態で本製品を取り外す場合や、本製品の電源を切る場合は、あらかじめ MO ディスクを取り出してください。その後、デスクトップ右下のタスクトレイに表示されている「取り外し」アイコンをクリックします。「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (X:) を停止します」をクリックし、「OK」をクリックしてから、本製品を取り外したり、電源を切ったりしてください。
- ▶ MO ディスクをフォーマット後、タスクバーや「ハードウェアの追加と削除」からハードウェアの取り外しを行った場合に次のメッセージが表示されて取り外しができないことがあります。
「プログラムが“汎用ボリューム”デバイスにまだアクセスしているため、デバイスを停止できません。」
- この場合は、まず他のアプリケーションが使用していないか確認し、使用状態を解除してください。
- それでも現象が回避できない場合は、Windows を再起動すると正常に取り外しが実行できます。
- ▶ パソコン本体がスタンバイおよび休止状態中は、本製品を接続している USB ケーブルを抜かないでください。パソコンが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- 誤って抜いてしまった場合は、スタンバイおよび休止状態から復帰後、必ずパソコンを再起動してください。

■ Windows Me で使用する場合

□ Windows Me/98 用「MO Supplement」のインストール

- 1 CD/DVD ドライブにドライバーズ CD をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 名前に次のように入力して「OK」をクリックします。

[CD/DVD ドライブ] : ¥Driver¥9x_Me¥Setup.exe

あとは、画面に表示されるメッセージにしたがって操作を続けてください。

Windows Me/98 用「MO Supplement」の機能など詳細については、ドライバーズ CD の「¥Driver¥9x_Me」フォルダ内の「Readme.txt」をご覧ください。

POINT

- ▶ MOディスクを読み取り中やフォーマット中に以下の行為を行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・USB ケーブルを抜く。
 - ・電源を切る。
 - ・MO ディスクを取り出す。
 - ・Windows を終了する。
 - ・パソコン本体をスタンバイや休止状態にする。

- ▶ FAT32 にフォーマットされた MO ディスクを入れたまま Windows を再起動すると、動作が停止することがあります。
- MO ディスクを取り出してから Windows を再起動してください。
- ▶ パソコン本体がスタンバイおよび休止状態中は、本製品を接続している USB ケーブルを抜かないでください。パソコンが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- 誤って抜いてしまった場合は、スタンバイおよび休止状態から復帰後、必ずパソコンを再起動してください。
- ▶ Windows Me で使用する場合、フォーマット中にキャンセルはできません。
- ▶ Windows Me では、「ディスクのコピー」は使用できません。
- ▶ Windows Me で使用する場合、640MB、1.3GB および 2.3GB の MO ディスクでは圧縮ツール「ドライブスペース」は使用できません。
- ▶ Windows Me で使用する場合、640MB、1.3GB および 2.3GB の MO ディスクに「FDISK」を実行すると、容量表示が実際の容量の 1/4 になります。
- ▶ パソコンの電源が入った状態で本製品を取り外す場合や、本製品の電源を切る場合は、あらかじめ MO ディスクを取り出してください。その後、デスクトップ右下のタスクトレイに表示されている「取り外し」アイコンをクリックします。「USB ディスク - ドライブ (X:) の停止」をクリックし、「OK」をクリックしてから、本製品を取り外したり、電源を切ったりしてください。
- ▶ デバイスマネージャの「USB 大容量記憶装置デバイス」に、緑色の「?」マークが付く場合がありますが、正常に動作しており問題はありません。
- ▶ Windows Me では USB1.1 での使用となります。

■ Windows 98 で使用する場合

□ USB ドライバのインストール

- 1 CD/DVD ドライブにドライバーズ CD をセットします。**
- 2 USB ケーブルをパソコン本体の USB ポートに接続し、本製品の電源を入れます。**
- 3 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示されたら、「次へ」をクリックします。**
- 4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。**
- 5 「検索場所の指定」をクリックします。**
- 6 「参照」ボタンをクリックします。**
- 7 表示されたウィンドウで CD/DVD ドライブの「Driver」フォルダ→「FJMSCD」フォルダをクリックして「OK」をクリックします。**
「検索場所の指定」に「[CD/DVD ドライブ] :¥Driver¥FJMSCD」と表示されます。
- 8 「次へ」をクリックします。**
「USB Magneto-optical Disk Drive (MO Drive)」と表示されます。
- 9 「次へ」をクリックします。**

10 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」が表示されたら「完了」をクリックします。

以上でドライバのインストール作業は終了です。「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして、新たにリムーバブルドライブアイコンが表示されていることを確認してください。

□ Windows Me/98 用 「MO Supplement」 のインストール

2

1 CD/DVD ドライブにドライバーズ CD をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

3 名前に次のように入力して「OK」をクリックします。

[CD/DVD ドライブ] :¥Driver¥9x_Me¥Setup.exe

あとは、画面に表示されるメッセージにしたがって操作を続けてください。

Windows Me/98 用 「MO Supplement」 の機能などについては、ドライバーズ CD の「¥Driver¥9x_Me」フォルダ内にある「Readme.txt」をご覧ください。

POINT

- ▶ Windows Me/98 用 「MO Supplement」 内の「Readme.txt」や、インストール画面で Windows 95 について表示されますが、本製品は Windows 95 では使用できません。
- ▶ MOディスクを読み取り中やフォーマット中に以下の行為を行わないでください。データが破壊されることがあります。
 - ・USB ケーブルを抜く。
 - ・電源を切る。
 - ・MO ディスクを取り出す。
 - ・Windows を終了する。
 - ・パソコン本体をスタンバイや休止状態にする。
- ▶ パソコン本体がスタンバイおよび休止状態中は、本製品を接続している USB ケーブルを抜かないでください。パソコンが正常に動作しなくなることがあります。
- 誤って抜いてしまった場合は、スタンバイおよび休止状態から復帰後に、必ずパソコンを再起動してください。
- ▶ Windows 98 では USB1.1 での使用となります。
- ▶ Windows 98 で使用する場合や、パソコン本体をスタンバイさせてから復帰した場合に、本製品が認識されないことがあります。

このような場合は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。「システム」をダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」画面で「デバイスマネージャ」をクリックして表示される画面で、「更新」を実行します。

または電源のオン／オフを行ってください。
- ▶ Windows 98 で使用する場合、フォーマット中にキャンセルはできません。
- ▶ Windows 98 では、「ディスクのコピー」は使用できません。
- ▶ Windows 98 で使用する場合、640MB、1.3GB および 2.3GB の MO ディスクでは、圧縮ツール「ドライブスペース」は使用できません。
- ▶ Windows 98 で使用する場合、640MB、1.3GB および 2.3GB の MO ディスク「FDISK」を実行すると、容量表示が実際の容量の 1/4 になります。
- ▶ Windows 98 で、「MS-Backup」でバックアップ先ドライブとして使用する場合、複数のディスクにわたってデータを保存することはできません。

「MO イJECTツール」のインストール

「MO イJECTツール」は Windows が以下の状態に移行するときに、自動で媒体を排出させるツールです。セキュリティメディア使用時のトラブルや、媒体排出忘れなどを回避するためにも、インストールし、自動排出することをお勧めします。

次の動作で媒体を自動排出します。

- ・再起動
- ・終了
- ・ログオフ
- ・スタンバイ
- ・休止状態
- ・ユーザー (アクセス権限) の切り替え

■ Windows XP/2000 で使用する場合

- 1 CD/DVD ドライブにドライバーズ CD をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 名前を次のように指定して「OK」をクリックします。

[CD/DVD ドライブ] : ¥Eject¥2k_XP¥SETUP.EXE

あとは、画面に表示されるメッセージにしたがって操作を続けてください。

「Windows XP/2000 用 MO イJECTツール」の機能および詳細については、ドライバーズ CD の「¥Eject¥2k_XP」フォルダ内の「Readme.txt」をご覧ください。

POINT

▶ フォーマットされていない MO ディスクや、セキュリティロックがかかっている MO ディスクなど、通常の読み込みができない MO ディスクを入れたまま MO イJECTツールを使用すると、アクセス不可によりエラーになることがあります。この場合は、手動で「取り出し」を行ってください。

また、他のソフトウェアが MO 内部のファイルを使用中の場合にもエラーになることがあります。この場合には、他のソフトウェアを終了して手動で取り出すか、再度シャットダウンなどの操作を行ってください。

■ Windows Me/98 で使用する場合

- 1 CD/DVD ドライブにドライバーズ CD をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 名前を次のように指定して「OK」をクリックします。

[CD/DVD ドライブ] : ¥Eject¥9x_Me¥Setup.exe

あとは、画面に表示されるメッセージにしたがって操作を続けてください。

「Windows Me/98 用 MO イJECTツール」の機能および詳細については、ドライバーズ CD の「¥Eject¥9x_Me」フォルダ内の「Readme.txt」をご覧ください。

「MO Security Tool」のインストール

「MO Security Tool」はMOディスクにパスワードによるアクセス制限をかけるものです。ご使用に際しては、ドライバーズCD内の「¥Security¥Security.pdf」をよく読んで、ご理解したあとにご使用ください。

2

■ Windows XPで使用する場合

- 1 CD/DVDドライブにドライバーズCDをセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 名前を次のように指定して「OK」をクリックします。

[CD/DVDドライブ]:¥Security¥XP¥Setup.exe

あとは、画面に表示されるメッセージにしたがって操作を続けてください。

「Windows XP用MO Security Tool」の機能および詳細については、「MO Security Tool」のヘルプおよびドライバーズCDの「¥Security¥Security.pdf」をご覧ください。

■ Windows 2000/Me/98で使用する場合

- 1 CD/DVDドライブにドライバーズCDをセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 名前を次のように指定して「OK」をクリックします。

[CD/DVDドライブ]:¥Security¥9x_2k_Me¥SETUP.EXE

あとは、画面に表示されるメッセージにしたがって操作を続けてください。

「Windows 2000/Me/98用MO Security Tool」の機能および詳細については、「MO Security Tool」のヘルプおよびドライバーズCDの「¥Security¥Security.pdf」をご覧ください。

SecureMO Light28のインストール

「SecureMO Light28」はMOディスクにパスワードによるアクセス制限をかけるツールで、設定するパスワードを「MO Security Tool」のRead/Writeパスワードのみに限定することで、操作を簡単にしています。

ご使用に際しては、ドライバーズCDの「¥Security28¥Security28.pdf」をよく読んで、ご理解いただいてからご使用ください。

※重要

▶ Windows 2000にインストールする場合は、Windows 2000 SP4以降の環境が必要です。
Windows 2000 SP4以降にアップグレードしてからインストールしてください。

- 1 CD/DVDドライブにドライバーズCDをセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

3 「名前」に次のように入力して、「OK」をクリックします。

[CD/DVD ドライブ]:\\$Security28\\$SETUP. EXE

あとは、画面に表示されるメッセージにしたがって操作を続けてください。

「SecureMO Light28」の機能および詳細については、「SecureMO Light28」内のヘルプおよびドライブーズ CD の「Security28\\$Security28.pdf」をご覧ください。

3

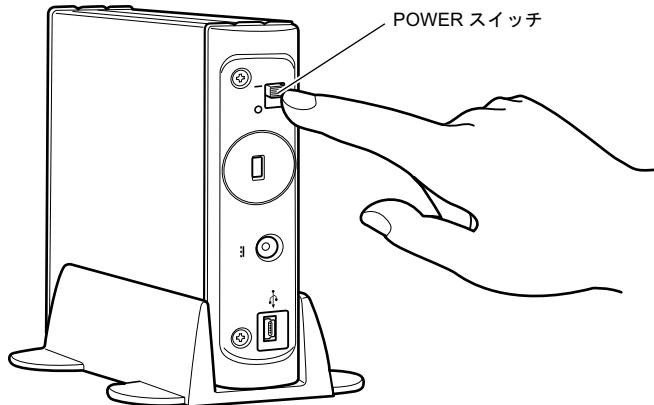
第3章

使い方

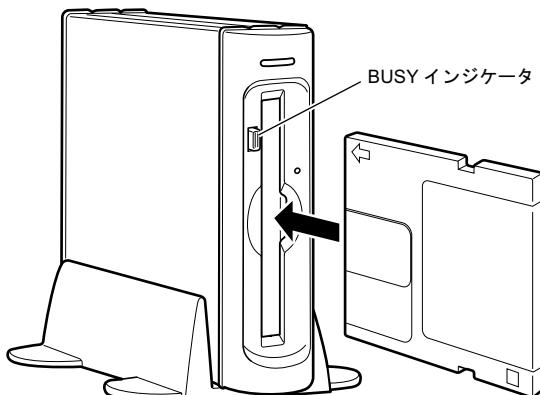
1 ディスクの入れ方	30
2 ディスクの取り出し方	32

1 ディスクの入れ方

- 1 背面にある **POWER** スイッチを上 (+) 側) に押します。
電源が入り、**POWER** インジケータが点灯します。



- 2 パソコン本体を起動します。
起動の方法は、パソコン本体に付属の説明書をご覧ください。
- 3 MO ディスクの容量が表示されている面が **BUSY** インジケータの側になるようにして、MO ディスクをディスク挿入口に差し込みます。



- 4 パソコン上でソフトウェアを使って、MO ディスク上のデータを読み取ったり、書き込んだりします。

読み取り／書き込み中は、**BUSY** インジケータが点灯します。

 **POINT**

- ▶ 本製品にMOディスクを入れて、読み込みができるようになるまではBUSYインジケータが点灯します。(約7秒間)
- ▶ 本製品はパワーセーブ機能をもっており、約30分間アクセスがない場合、ディスクの回転を停止します。
したがって、その後の最初のアクセスは、ディスクの起動（最大約14秒間）のために、応答までの時間が長くなります。

2 ディスクの取り出し方

ディスクは以下のどちらかの方法で取り出すことができます。

- Windows 上でドライブアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「取り出し」をクリックする。
- Windows を起動した状態でディスクを取り出すときは、トラブルを避けるためにもこの方法で取り出すことをお勧めします。
- 光磁気ディスクユニットの前面にある「EJECT ボタン」を押す。

POINT

- ▶ ディスクのデータの読み取り、書き込みによって BUSY インジケータが点灯している間は、ディスクを取り出したり、本製品の電源を切ったりしないでください。点灯している間にディスクを取り出したり、本製品の電源を切ったりすると、データが正しく書き込まれなかったり、ディスクのデータが消えてしまったりすることがあります。
- ▶ ディスクを取り出す場合、ディスクを先端から約 2cm 引き出した位置で、引き出す力が強く必要になることがあります。
これはディスクイジェクト動作時に、ディスクが本製品から飛び出してしまうのを防ぐための仕様であり、故障ではありません。

□ ディスクが取り出せない場合は

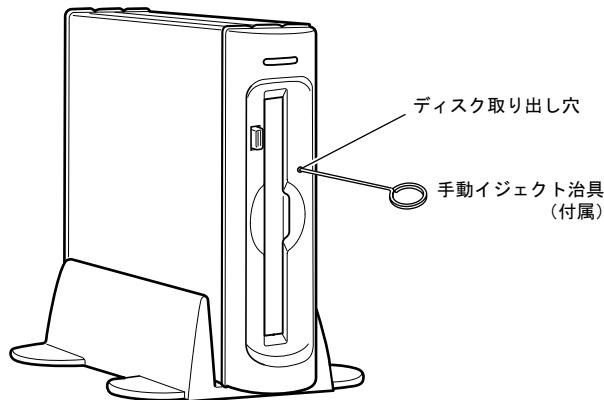
次のような場合は、EJECT ボタンを押してもディスクが取り出せないことがあります。

- 本製品が故障したとき
- パソコン本体にトラブルが生じたとき
- 停電などで本製品の電源が入らないとき

この場合は、次のようにしてディスクを取り出します。

1 本製品の電源を切ります。

2 付属の手動イジェクト治具を、ディスク取り出し穴にまっすぐに押し込みます。



4

第4章

取り扱いについて

1 本製品の取り扱い	34
2 ディスクの取り扱い	35
3 クリーニングについて	37

1 本製品の取り扱い

万一の故障を防ぐために

■ 急激な温度変化は避けてください

寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げたりしたときは、本製品内部に結露が起こる場合があります。急激な温度変化があった直後は使わずに、1時間以上待ってからお使いください。結露が起きたままMOディスクを入れると、本製品やMOディスクが損傷することがあります。結露が起きている可能性があるときは、すぐにMOディスクを取り出してください。

■ MOディスクを入れたまま移動しないでください

使わないときは、MOディスクを必ず取り出しておいてください。MOディスクを入れたまま、本製品を持ち運んだりしないでください。
また、使用中は、MOディスクが高速で回転しています。このとき、本製品を動かすと動作が不安定になったり、MOディスクを傷つけたりするおそれがあります。

■ 雑音電波について

本製品は高周波の信号を扱うため、ラジオやテレビ、オーディオチューナーなどに雑音が入ることがあります。この場合は、距離を少し離してご使用ください。

■ カバーが汚れたら

カバーの汚れは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。アルコール・シンナー・殺虫剤など、揮発性の溶液剤は使用しないでください。表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

■ 長時間連続で使用する場合について

本製品は長時間連続使用など、ご使用の状態によっては早期に装置の交換が必要となる場合があります。

■ 高温環境で使用する場合について

本製品を高温環境で使用する場合は、大切なデータを失わないために本製品の温度センサが働き、動作が遅くなることがあります。

2 ディスクの取り扱い

取り扱い上のご注意

- ・ MO ディスクに書き込み動作 (コピーなど) をしているときは、画面上でファイルの転送が終わってもその後しばらくの間、MO ディスクにデータの書き込みが行われます。(本製品前面の BUSY インジケータが点灯しています)
- 4 BUSY インジケータが点灯している間は、本製品のイジェクトボタンを押したり、取り出しメニューをクリックしたりすることは絶対にしないでください。正常な書き込みができなくなることがあります。
- ・ MO ディスクに激しい振動を与えたり、落としたりしないでください。
- ・ MO ディスクは、工場出荷時に精密に調整されていますので、分解しないでください。
- ・ MO ディスクは、本製品に挿入すると、自動的にシャッタが開く自動装填式です。MO ディスクのシャッタを手で開けて、内部に触れないでください。
- ・ 温度差の激しい所や湿気の多い所では使わないでください。結露が起こって、データの書き込み／読み取りができなくなる場合があります。
- ・ 必要以上に、MO ディスクを本製品に出し入れしないでください。
- ・ 使い終わったら、必ず本製品から MO ディスクを取り出しておいてください。また、持ち運ぶときには必ずケースに入れてください。

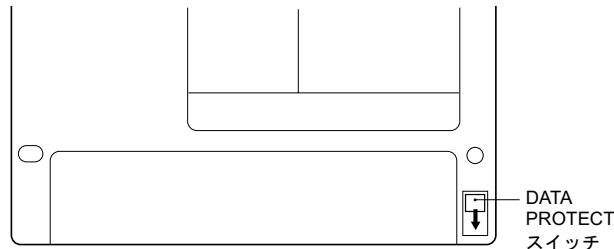
■ MO ディスクの保管について

- ・ MO ディスクは、ケースに入れて保管してください。
- ・ 自動車のダッシュボードやトレーは高温になることがありますので、MO ディスクを絶対に放置しないでください。
- ・ 次のような場所に保管しないでください。
 - ほこりやちりの多い所
 - 直射日光の当たる場所
 - 暖房器具の近く
 - 湿気の多い所

MO ディスクのデータを守るために

MO ディスクには、データを誤って消したり、不要なデータを書き込んだりするのを防ぐための DATA PROTECT スイッチ (黒いつまみ) がついています。このスイッチを矢印の方向 (下) にスライドさせておくと MO ディスクのデータを読み出すことはできますが、書き込むことができなくなります。スイッチを元に戻すと、再び書き込むことができるようになります。

書き込む必要のない MO ディスクは、スイッチを矢印方向にスライドさせておいてください。



3 クリーニングについて

MOディスクのクリーニング

MOディスクを長い間使用すると、MOディスク上にほこりや汚れが付着し、データを正常に読み書きできなくなる場合があります。このようなことを防ぐために、ディスククリーニングキットでクリーニングを行う必要があります。

MOディスクの性能を維持するために、3ヶ月に一度はクリーニングを行ってください。

4

■ 使用できるクリーニングキット

光ディスククリーニングキット（サプライ商品番号：0632440）（別売）をお使いください。クリーニングのしかたは、クリーニングキットに付属の取扱説明書をご覧ください。

レンズのクリーニング

本製品は、データを書き込んだり、読み取ったりするために、光学レンズを使用しています。レンズがほこりやごみなどで汚れていると、正常なデータの書き込み／読み取りができない場合があります。このようなことを防止するために、クリーニングカートリッジでクリーニングを行う必要があります。本製品の性能を維持するために、3ヶ月に1度程度のクリーニングをお勧めします。

■ 使用できるクリーニングカートリッジ

光磁気ディスククリーニングカートリッジ（サプライ商品番号：0240470）（別売）をお使いください。クリーニングのしかたは、クリーニングカートリッジの取扱説明書をご覧ください。

富士通サプライ品は、富士通コワーコ株式会社の取り扱い品です。

お問い合わせ先：富士通コワーコ株式会社お客様総合センター

- ・電話：0120-505-279
- ・電話受付時間：9:00～17:30（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
- ・URL：<http://jp.fujitsu.com/coworco/>

リサイクルについて

■ 本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規制を受けます。

□ 法人・企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」
(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。

□ 個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に
関連する条例または規則に従ってください。

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

■ 24時間以上の連続使用について

- ・本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

* 故障・修理に関するお問い合わせ先

[法人のお客様]

- 「富士通ハードウェア修理相談センター」
 - ・フリーダイヤル 0120-422-297
 - ・お問い合わせ時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日および年末年始を除く)

[個人のお客様]

- 「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」
 - ・フリーダイヤル 0120-950-222
 - ・お問い合わせ時間 24時間・365日対応

4

* 技術的なご質問、ご相談のお問い合わせ先

- 「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」
 - ・フリーダイヤル 0120-950-222
 - ・お問い合わせ時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日を除く)

- おかげ間違いのないよう、ご注意ください。

- 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。

お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

- システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

5

第5章

技術情報

1 仕様一覧	41
--------------	----

1 仕様一覧

■ 性能

記憶媒体	128MB	230MB	540MB	640MB	1.3GB	2.3GB
総記憶容量 ^注	128MB	230MB	538MB	643MB	1.28GB	2.26GB
回転数		6,094rpm		4,094rpm/ 4,853rpm (ZCAV/ ZCLV)		3,640rpm
平均回転待ち時間		4.9msec		7.3msec/ 6.2msec (ZCAV/ ZCLV)		8.2msec
ロード時間		8sec			10sec	
平均シーク時間			23msec			
データ転送速度			480Mbps			
アンロード時間			4sec			
データバッファ			8MB			
ホストインターフェース			USB2.0			

注：フォーマット時の容量を1MB = 1000 × 1000 バイトで換算

■ 環境

設置方向	水平（横置き）、垂直（縦置き）	
温度	動作時	5 ℃～35 ℃（温度勾配10 ℃ /H）
	非動作時	0 ℃～50 ℃
湿度	動作時	10%～85%（結露のないこと）
	非動作時	10%～85%（結露のないこと）
振動	動作時	0.4G以下
	非動作時	1G以下
衝撃	動作時	2G以下（10msec half sine波）

■ 電源・その他

電源	ACアダプタ（入力：AC100V, 50/60Hz）
消費電力	15W以下
最大外形寸法（縦置きスタンド、突起部含まず）	34 × 126 × 175mm（幅×高さ×奥行き）
質量（縦置きスタンド含まず）	950g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

**FMV シリーズ
3.5 インチ光磁気ディスクユニット -2.3GB
(セキュリティ対応／USB)
(FMPD-462S)
取扱説明書**

B5FY-6051-01 Z0-00

**発行日 2005年10月
発行責任 富士通株式会社**

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

FUJITSU